



# 勝山市エコミュージアムニュース

平成20年度の取り組み

勝山市エコミュージアム協議会

勝山写真コンテストグランプリ作品  
「火龍」



勝山市エコミュージアム「ふるさと元気博物館」

## 勝山市エコミュージアム協議会とは

勝山市エコミュージアム協議会は、勝山市の豊かな自然環境と伝統文化を生かしたまちづくりの手法として、まち全体を屋根のない博物館とみなす「エコミュージアム」を推進するため、各地区まちづくり団体と市民団体等から構成された団体です。

平成20年度の「わがまちげんき発展事業」の取り組みをはじめとする各構成団体の取り組みを紹介します。

### 勝山地区エコ推進協議会

#### 「町中歴史ウォーク」

現代の私たちは毎日の忙しさからついつい昔話や町中の歴史の話にも耳を傾けず、疎かになり子ども達からの問いかけにも答えられない事が無いでしょうか？

もう一度原点に戻って町中の歴史を知ること、わが故郷に自信を持ち、子ども達と一緒に後世に伝えていくため、当協議会で作成した歴史探訪冊子『昭和の勝山街道“町中案内人”・明治から昭和に見る勝山町中写真集・勝山おもしろ読本』等に基づき、年間3回程度『町中歴史ウォーク』を開催しています。



### 猪野瀬まちづくり推進協議会

#### 「地区の名物へ『健康野菜ヤーコン』」

健康野菜ヤーコンの栽培に取り組んでいます。今年度は、植えつけや収穫体験の実施や収穫したヤーコンの試食や料理レシピの配布を行い、地域住民へのヤーコンの普及をはかりました。



#### 「大師山を桜の山に」

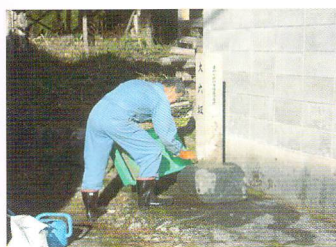
当地区のシンボルのひとつである大師山の整備に取り組んでいます。今年度は、「大師山を桜の山に」をテーマに掲げて、大師山の山頂までの林道沿いに、桜の木200本の植樹を行いました。

### 平泉寺町まちづくり推進協議会

#### 「名所旧跡標柱設置事業」

平泉寺町は、当時の華やかな歴史に裏打ちされた名所旧跡は数多くあるが、これまでその認識は低く、由来を知る人は少なく埋もれて来た。平成15年～18年度にかけて町内に62本の標柱を建立してきましたが、本年再度見直しを行い見落としした各所に、新たに12本設置しました。

恵まれた多くの名所旧跡は平泉寺町の魅力ある特性であり、先人からの貴重な遺産であり贈り物と捉え、事の起こりや云われを知り、地域の誇りと活性化にしていきたいと願っております。

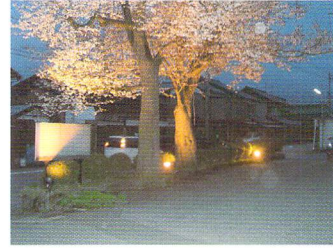


## まちづくり・むろこの会

### 「公民館の桜木を守る事業 開花時のライトアップ」

この桜木は山桜の品種で、ソメイヨシノに比べて極めて長寿です。  
(平均300年、日本で最長800年)

公民館前の桜木は、推定樹齢50年ですが、この桜木を町民一体  
となって守っていこうとする活動を行っています。



### 「公民館の桜木を守る事業 クリスマスイルミネーション」

この桜木に対する町民の関心を広め、尚且つ町民の一体感を強める  
目的で実施しています。

### 「花いっぱい推進事業」

わが家の庭先玄関からを合言葉に『村岡全体を花で埋め尽くそう』と  
目指す事業です。写真は、五本寺区恐竜通りで育てたコスモスの満開時の様子です。



## 北谷町まちづくり推進協議会

### 「遺産めぐりウォーキング」

今年度は小原、西山地区のウォーキングを募集したところ、市  
内外より25名の参加があり自然豊かな小原、西山地区の散策が  
出来て参加者の方に大変喜ばれ、お土産には古民家再生の記録本  
と特産のお餅を持って帰って頂きました。



### 「『殿切原の由来』の案内看板の作成」

昨年は行先の案内看板のみでしたが、今年度は「殿切原の由  
来」の説明を記入した看板と方向を示した看板の2枚を作成して、  
この地域を訪問する人たちに解り易い様にしました。

## 野向町まちづくり推進委員会

### 「『高尾の息吹3』(仮称) 発刊にむけて」

野向町に残るいわれや伝承を記した既刊書「高尾の息吹」を後  
世に残す為、データ化の作業を行っています。また、発刊後30年  
の間に变化のあった事柄や未記載部分の追記をする為、月に一度  
の学習会や、お年寄りへの聞き取り作業に取り組んでいます。



### 「広報誌『よんどくねんせ』刊行」

年2回発行の広報誌「よんどくねんせ」では「高尾の息吹」の  
原稿募集や、今年度から会社化した特産のエゴマに関する情報提  
供の他、牛ヶ谷地区のみ残っている昔の住宅地図を、野向町全地  
区分作成し、掲載しようと取り組んでいます。

## 荒土町ふるさとづくり推進協議会

### 「火持ち抜群！ 荒土の炭」

おかげさまで、荒土の炭もたくさんの方から好評を得ています。今年度はいつもより多く焼きましたが、暖房用に必要となる時季にはほとんどなくなり、年の市用に残しておかなければならないという嬉しい事態になりました。重労働ですが、会員は生きがいとして頑張っています。



### 「いやしの炭花器」

炭を焼くたびに、炭の足（窯のなかで地面に着いていた部分）が出て製品にならないので、何か工夫できないかと花器を作ってみました。炭は保水力があるので、受け皿に水を入れておくと自然に吸い上がります。すてきなインテリアになりました。

### 「うど栽培」

炭窯近くの休耕田を利用して試験的に山菜を栽培してみようということになりました。県総合グリーンセンターや奥越農林総合事務所の指導を受けてうど苗を育て、田に籾殻堆肥を鋤きこみ定植しました。猪被害予防のために、炭から取った木酢液を周辺に撒き、成長をみています。



## 北郷町まちづくり委員会

### 「ほたるの里事業」

北郷公民館前の川は、ほたるの群生地です。この土地を 町民憩いの広場『ほたるの里』と命名し、自然体験学習や北郷の各種行事を開催しました。

具体的には、ほたるの鑑賞会や北郷町文化祭でのステージ発表などです。みなさんもぜひ見に来てください。



### 「鮎の巻き寿司事業」

今年度も、北郷町の名産品『鮎の巻き寿司』を販売しました。うまいもん祭り等の行事において、全て早い時間に完売し、委員一同喜びをかみ締めています。

また、新商品の開発にも着手し、『鮎の昆布巻き』や『鮎のへしこ』を現在製作中です。

今後もこの活動は続きます。どうか応援をお願いいたします。

## 遅羽町住民協議会

### 「カタクリまつり」

春のバンブラインは、登山道付近にカタクリの花がひろがり、展望台からは勝山市街や加越国境の山々を眺めることができ、多くの登山者が訪れています。住民協議会では4月20日(日)にカタクリまつりを実施し、自然観察をしながら登山し、下山後勝山駅駐車場で参加された皆さんに鍋や地元特産物の即売会を開きました。



### 「比島観音の案内看板設置」

バンブラインにある比島観音に案内看板を設置しました。観音のいわれは次のとおりです。「泰澄大師によって開かれた平泉寺。天正二年(1574)一向一揆の焼き討ち以前は六千坊とも言われ極めて荘厳であった。比島観音は平泉寺四至(平泉寺の境内の東西南北の境界地点)の一角で乾(北西)に当たる。その中で唯一、連綿と祭(4月18日に近い日曜日)が行われている。」

## 鹿谷町まちづくり協議会

### 「城山の整備」

歴史ある城山の整備も今年で3年目となりました。今年度は西光寺側に新しいルートを開拓しました。登山道の整備や階段の設置はもちろん、登山道入り口から山頂まで8つの案内板を設置し登山者がますます楽しめるコース作りを行いました。



### 「各地区村まつりへの屋台の出店」

毎年鹿谷町まちづくり協議会青年部が志田、本郷、西光寺、東遅羽口の4地区の村まつりに射的と千本釣りの屋台を出店しました。どの地区でも、子供も大人も昔ながらの屋台の復活に大変喜び、村まつりは大変賑わいました。

### 「鹿谷町保田の経ヶ岳登山」

10月13日(月)に経ヶ岳登山会を開催しました。快晴の天気の中、参加者37名は山頂までの約2時間程度の道のりを和気あいあいと登山しました。山頂で素晴らしい眺めを堪能した後は、参加者みんなでBBQを楽しみました。



## 谷はやし込み保存会

### 「はやし込み行列」

今年も「かちやま夏物語」の五だ行事のひとつとして、8月15日に「はやし込み行列」が行われました。北谷町谷地区にふるさとを愛して帰ってきてくれる人が集まり、谷のお寺から伊良神社まで、40名の仮装した人が練り歩き、神社境内で五穀豊穡を願い、謡・三番叟・お神楽(獅子舞)が行われる、100年以上の歴史がある伝統行事です。



### 「谷のお面さん雪像まつり」

今年の「谷のお面さん雪像まつり」は、2月15日の日曜日に開催しました。村に伝わるお面さんが、「優しい顔に見えたらその年は豊作になる」と伝えられているまつり当日には、勝山青年会議所の協力を得て作成した約120体の雪像にロウソクが灯され、幻想的な雰囲気になります。郷土料理の鯖のなれ寿司やガヤの実、甘酒などのふるまいも行いました。

## わくわく体験学習推進隊

### 「自然観察会」

4月～11月の第2日曜日に、市内各所で植物や森などの観察会を行いました。講師の分かりやすい説明を聞きながら、勝山の自然のすばらしさを再確認することができました。



### 「恐竜化石発掘体験」

今年の恐竜化石発掘体験は、非常にたくさんの参加者がありました。北谷町の発掘現場では、国内で初めて鳥脚類の下あごの骨が発見されるなど、恐竜についての話題が絶えませんでした。

### 「ワンダーフォーゲルin勝山」

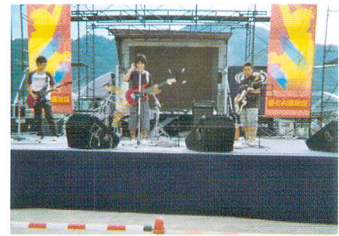
関西学院大学ワンダーフォーゲル部と子ども達との交流会が夏休みに1泊2日で東山キャンプ場にて行われました。魚とりやキャンプファイヤー、流しそうめん、取立山登山などを行い大変楽しい時間を過ごすことができました。



## ドレミ音楽舎

### 「素人バンド大会」

勝山市内の高校生を中心としたバンドに、演奏の場を提供しています。勝山を離れていく生徒においても、また、勝山に戻ってくるような思い出と感動を、素晴らしいステージの上で体感していただきました。



### 「山本コータローとほぼウィークエンド」ライブ

毎年取り組んでいる「唄の市」のイベントとして、プロのミュージシャンを招いて、勝山夏祭りの前夜祭を盛り上げました。

野外ライブでもあり、プロの方々も市民からの反響に、非常に感動していました。『これがライブや!』と。

## (社)勝山青年会議所



### 「クリーンアップ九頭竜川」

九頭竜川での川清掃事業は、本年で5年目を迎えます。市民・企業・行政が三位一体となり、川清掃を行うことによって、参加者や参加団体とごみの回収量は年々増加しています。

本年も実施しますので、みなさんの参加をお願いいたします。

### 「かつやま成器塾 ～谷からのおくりもの～」

緑豊かな北谷町谷区を舞台に、そこに住む方々と連携し、子どもたちにとって心を豊かに育む、学びの場を提供したいと願い、開催しました。



### 「エコミュージアムフェスティバル

#### いっぺん観てみねのお～体験！勝山の郷」

勝山市エコミュージアムは、第3段階である「物語づくり」の時期にきています。この物語を市外の人々に評価してもらい、勝山の価値をわれわれ自身が再認識することを目的として、3つのテーマに分け、ツーリズムの手法を取り入れて行いました。

本年も実施しますので、みなさんの参加をお願いいたします。

## 越前禅定道修験者マラソン実行委員会

### 「2008 越前禅定道修験者マラソン」

“禅定道の風になれ!!”

このマラソンも5回を重ねるレースとなりました。毎年参加者が増えており、次回開催には100名程度の募集を計画したいと思っています。

健脚自慢のみなさんの参加をお待ちしています。



## 勝山城博物館

### 「勝山城清明茶会」

春爛漫の中、各流派の方々により濃茶席・薄茶席・点心席・野点席を設え大茶会を開催いたしました。お茶席では優雅でしっかりと落ち着いた風情をお楽しみいただき、また郷土料理も加えての点心席は好評です。毎年開催していますので、どうぞ皆様お問い合わせしてお気軽にご来館いただきますようお願いいたします。



### 「勝山城博物館特別展『鉄砲展』」

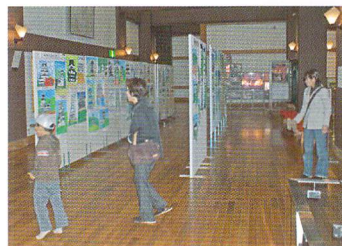
毎年テーマをかえて地域にふさわしいものを展示し皆様にご覧いただいております。

昨年度は勝山が生んだ日本書道界の偉人「西脇呉石」の作品や愛用の品々を展示いたしました。本年度は幕末期に作られた「一貫目玉抱え大筒」（勝山城博物館蔵）をはじめ国友や堺の時代物の鉄砲の数々を展示させていただきます。



### 「第4回 越前勝山城『お城を描こう』絵画作品展」

「子どもの絵から宝物を」をテーマに、勝山市をはじめ県内外の保育園・幼稚園・小、中学校の子ども達を対象に作品を毎年募集し、頑張りが認められた作品に賞状・副賞を、惜しくも選にもれた作品には参加賞を贈呈、全作品を城内に展示しました。



## 勝山左義長ばやし保存会

### 「左義長ばやし講習会の実施」

まつりの時期だけではなく7月より毎月2回市民活動センターにお囃子の講習会を実施しました。太鼓、三味線、笛を約30名余りが受講しました。



「市外・県外でのPR活動」  
県外へのPR活動として、石川県で公演を行いました。

### 「お囃子講習会」

恒例のお囃子講習会を12月より実施、まつりに向けて多くの受講者が集まりました。



## ラブリー牧場・勝山城博物館・大師山清大寺

### 「勝山体験ツアー いっちょらいの旅」

近年、注目されている体験型観光を勝山市で推し進めるために、体験ツアーのモデルコースを設定し、参加者の募集をしました。しかしながら、募集時期の遅れもあり、1回のみで開催となってしまいましたが、参加者からは感動の声があがっていました。



## ビプライズ

### 「食材検討会の実施」

勝山市内の生産者、美プライズの管理栄養士、野菜ソムリエ、一般主婦を交えて食材の検討会を開催しました。勝山市内で現在出荷されている食材の中で代表的な食材かつ、食べ方の工夫次第で健康に良いとされる食材を集めました。勝山建長を商品化するに当たり、これらの食材について、例えば食べ頃について、消費者と生産者の認識がどれだけ合致しているかを検証しました。



### 「情報発信の整備」

勝山市内の紹介や、勝山の生活、食材の作り手である生産者について、「勝山発日本全国」を合言葉に、インターネットを活用したシステムを整備しました。実際に、生産者の方々に日常の事について情報発信を行なっていただきました。消費者からは食の安心安全についての興味や、健康長寿の街、勝山市についての興味を持たれ、数多くの問合せを頂きました。

URL : <http://www.bepira.co.jp>

## 鯖の熟れ鮓し加工グループ

### 「鯖の熟れ鮓し加工グループの企業組合化」

平成18年の年の市へ初出店し、わずか30分で完売となる大人気で、平成19年・20年と続けて完売となったことから、本年度4月に法人化の話が持ち上がりました。6月から福井県中小企業団体中央会の協力をいただき、企業組合化に向けて手続きを進めました。8月29日には県知事の認可、9月26日にはコミュニティビジネス協議会の推薦をいただき、10月1日に企業組合として登記をいたしました。



### 国史跡 白山平泉寺旧境内

平泉寺は、今から1300年近く前、泰澄によって開かれたと伝えられています。最盛期には、北陸でも有数の勢力を有し、200ヘクタールもの広大な境内に、数十の堂や社、数千に及ぶ坊院が建ち並んでいたといわれています。

現在、勝山市教育委員会によって平泉寺旧境内の発掘調査が行われ、中世の坊院跡や石畳道が発見されており、中世の「宗教都市」としての平泉寺の姿が徐々に明らかになってきました。

平成18年からは、福井・石川・岐阜の白山を取り巻く関連自治体と連携して、「霊峰白山と山麓の文化的景観」を世界遺産の国内候補として提案する運動を展開しています。

また、文化庁の「史跡等総合整備活用推進事業」の採択を受け、平成20年から5カ年計画で「南谷三千六百坊」跡地を中心に、発掘地の整備や門・土塀の復元、ガイダンス施設の建設、見学路や案内板・説明板の整備等を行い、より多くの方に平泉寺の魅力に触れていただく予定です。

## 勝山市エコミュージアム協議会

事務局 勝山市役所未来創造課内

〒911-8501 福井県勝山市元町1-1-1

TEL 0779-88-1115 FAX 0779-88-1119

e-mail [rune@city.katsuyama.fukui.jp](mailto:rune@city.katsuyama.fukui.jp)

HP <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>